

【小学校・第6学年 算数】①

〇〇立〇〇小学習過程スタンダードにICTを取り入れた授業

単元の目標

分数の除法の意味について理解し、その計算の仕方を図・数直線や式を用いて考える力を養うとともに、計算の仕方を除法の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活に活用したりする態度を養う。

ICT活用のポイント

〇〇小学習過程スタンダードの授業を、効率的に展開するためにタブレット端末を用いる。

事例の概要（授業の流れ）

活用したソフト等 ロイロノート デジタル教科書

【つかむ】

デジタル教科書の拡大表示を使って課題をつかむ。

【事例におけるICT活用の場面①】

- 児童のタブレット端末に課題を送信し、文字や数値、アンダーラインなどの書き込みをさせる等して、課題をつかませた。
- プロジェクターでも拡大表示し、解決する課題を共有し、児童が見通しをもてるようにした。

1 右の表のような長さの、3本のリボンがあります。
赤のリボンの長さをもとにすると、青のリボンと黄のリボンの長さは、それぞれ何倍ですか。

	長さ(m)
赤	$\frac{1}{2}$
青	$\frac{5}{4}$
黄	$\frac{3}{8}$

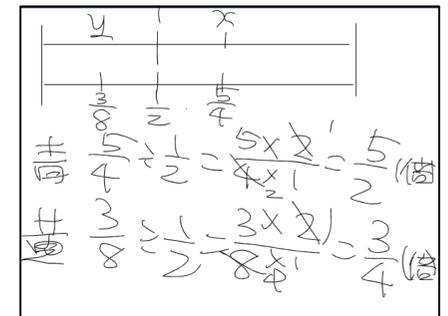
- 児童に送信した問題

【自力解決】

示された線分図を活用して、数量の関係をつかみ課題を解決する。

【事例におけるICT活用の場面②】

- 数量関係を整理して、考えたことを説明するときに、立式と数直線図を対応させるようにした。
- 数直線図で表された二つの数量関係を理解させるために、比例の考えを用いた。



- 児童の解答

【小学校・第6学年 算数】②

〇〇立〇〇小学習過程スタンダードにICTを取り入れた授業

事例の概要（授業の流れ）

【学び合い】

解決方法や結果を全体で共有する。

【振り返り】

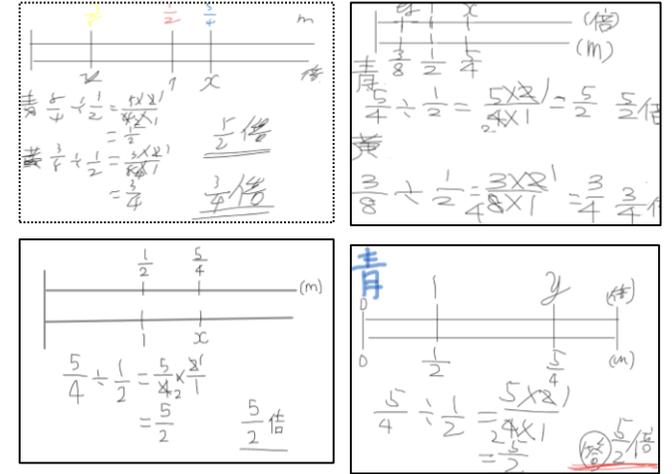
身につけた知識・技能や思考力・判断力・表現力等を再確認する。

【事例におけるICT活用場面③】

- 児童に、解答を教師用のタブレット端末に送信させた。
- プロジェクターを使って、提出された解答を拡大表示し、説明し合う活動を通して、互いの考えを共有させた。
- 教師が考えを深める視点を示し、話し合わせた。
- 児童の考えのよさを共有させた。

【事例におけるICT活用場面④】

- 児童の振り返りを教師用のタブレット端末に送信させた。
- 1時間の授業や単元のまとめで、個々の振り返りを共有させることによって、学んだことやできるようになったこと、問題の解き方や考え方などを確認させた。



共有された児童の解答

ふりかえり 名前 () ・割り算の計算は割る数を逆数にしてかければ良いことが分かりました。 ・単位をそろえるときに分数に直すことが出来るので活用していきたいと思いました。	ふりかえり 名前 () ・分数の割り算は、逆数にして計算すれば良いと言ったことが分かりました。 ・約分ミスがあったので、次からは直したいです。 ・速さの問題も、分数が使えることがわかりました。
ふりかえり 名前 () ・分数の割り算は割る数を逆数にして、分母どうし分子どうしてかけると求められる。 ・小数や整数の混じった割り算は分数を基準にして計算すれば良い。	ふりかえり 名前 () 分数のわり算はわる数(1割はわる数より小さくなる) 1割はわる数より大きくなる。また小数が入っている分数のわり算は小数を分数にすれば簡単に答えが求められることが分かった。

児童の振り返り

成果と課題

〇〇〇小学習過程スタンダードに、タブレット端末を用いることによって、効率的に授業展開ができるよう取り組んだ。「課題の提示」がわかりやすくなり、「学び合い」や「振り返り」の共有場面で有効に活用することができた。

○タブレットに課題の解答や振り返りを記述させるため、ノートへの記述機会が少なくなり、学習内容を振り返る際にノートに記述された内容のつながりがわかりにくくなった。